

# ほうじん さかけこ



発行所

酒田市中町二丁目4番1号

社団法人 酒田法人会

TEL 26-4772 FAX 26-4788

URL <http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin>

E-mail [s.houzin@jeans.ocn.ne.jp](mailto:s.houzin@jeans.ocn.ne.jp)

● あたらしい時代の経営者へ 法人会 ●

## (社)酒田法人会 設立30周年記念号

社団法人酒田法人会は、昭和56年10月27日に「社団法人」として設立以来、本年30周年を迎えました。同時に、先の第30回通常総会（5月24日開催）の決議に基づき、本年中には「公益社団法人」として、新たな一歩を踏み出すこととなっております。

平成23年度もいよいよ下半期を迎えました。

副会長が3名から5名体制となり、役員には新理事5名を迎えての新体制となった今年度は、社団法人設立30周年とほぼ時を同じくして、「公益法人」への移行（従って社団法人は解散）という、正に名実ともに節目の年となりました。

30年という時間の経過の中で、国の内外に亘って、政治・経済・社会のシステムが大きく変動したことに、改めて驚きなしとしません。この間、会員の皆さんの絶大なご支援・ご協力あって、今日を迎えられましたことに感謝しつつ、まずは喜び合いたいものと存じます。

そしてこれを契機に、これから展開される「法人会のあり方」について、多くの皆さんのご意見・ご要望を寄せて頂き、広く開かれた組織として、継続し発展することを祈念するものであります。

まずは、記念事業として、「砂川直子ソプラノリサイタル」（11/11）と「記念式典」（11/15）を開催することと致しましたので、お誘いあわせの上、多くの皆さんがご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 当面の日程

- 10月3日(月) 新設法人説明会
- 10月5日(水) 第1回組織合同会議
- 10月6日(木) 全法連・第28回全国大会
- 10月24日(月) 第3回理事会  
第1回組織合同会議  
福利厚生制度連絡協議会
- 11月1日(火) 総務・広報合同委員会
- 11月16日(水) 年末調整説明会（希望ホール）
- 11月17日(木) 年末調整説明会（平田タウンセンター）
- 12月6日(火) 第2回組織合同会議
- 12月7日(水) 源泉徴収講習会
- 12月8日(木) 決算法人説明会

## 組織強化月間始まる!!

— 10/24 から 12/6 —

組織強化の取組は、最重要課題であります。去る9月27日(火)に組織委員会を開催し、今年度の基本方針を検討し、10月24日(月)の第3回理事会に答申の予定であります。それを受けて、同日第1回役員合同会議をもって「会員増強運動」がスタートとなります。

加入率の維持・向上に向けた取り組みは、地域にあつてその組織の社会的評価を左右することは言うまでもありません。今年度、取り巻く環境は一層厳しいものがありますが、身近なところで一人でも多くの会員加入を勧めて頂くようお願い致します。



第26回県連総会 (6/17)



24年連続加入率70%超で県連会長表彰を受ける滝井副会長

# 前田会長

## 「(社)酒田法人会」を語る!!

現下、まずは東日本大震災で未曾有の大災害を被られた皆さんに、心からのお見舞いを申し上げます。

今年、少し遅れて届いた宮城・岩手・福島の県連及び単位の「通常総会議案書」を拝見するにつけ、同じ東北の法人会の皆さんが、そのおかれた非常に困難な状況の中で、それぞれに組織の維持・運営に必死に当たられておられる様子が何れも胸熱くなる思いであります。改めて、法人会の位置づけを考えさせられるものであります。

さて、当会はこの5月の米沢法人会に続き、社団化設立30周年を迎えました。昨年暮れから早々に「実行委員会」を立ち上

げ、記念事業の企画・準備に当たって参りました。時節柄その内容・規模について論議のあるところではありますが、周年行事の意味するところは、会員相互にその「来し方・行く末」を展望し、組織としての在り方について思いを共有するところにあります。

従って、関係方面の多くの皆さんの参加も得て、まずはお集まり頂き一つの歴史的区切りを皆さんと確認し合いたいものです。

### 1. (社)酒田法人会の現状

ご承知の通り、当会は前身の「酒田法人協会」(法的には任意団体)の設立(昭和22年8月27日)に始まり、昭和56年10月27日に「社団化」を実現しました。それから30年が経過しようとしております。

社団化当時は会員数857で加入率も50%を漸く超えたところでありました。それに先立つ昭和54年に飽海4町(当時)の「支部化」が図られ、組織力が高まってきたことが記録から伺

えます。そして、昭和61年には会員数も1,000を超え、翌昭和62年には、加入率で70%を超える優良組織に成長しました。爾来、24年連続で70%の加入率を維持しており、全法連及び県連会長表彰を頂戴している所でもあります。

正に、先人の皆さんの並々ならぬご努力の結果であり、そして現在、組織委員・地区役員の方々の中心に、組織強化を重要課題として取り組んでいる結果であります。そのことに、改めて誇りを覚えますし、みなさんのご尽力に敬意と感謝の意を表するものであります。

今の時代、組織の拡大は望むべきもありませんが、地域にあつてはその規模・組織率はその健全性の指標でありますし、その維持・発展に拘りをもつて取り組んで参りたいものと存じます。

### 2. 法人会の役割

私は昭和63年に副会長に、そして平成11年に会長を拝命し、世紀を跨いで今日を迎えており

ます。法人会の役割も、設立当初の主要目的でありました「申告納税制度」の普及・啓蒙活動については、ほぼその使命は果たしたと言えるものの、変化の激しい時代に適った「税制」を求める活動は、いつの時代も変わるものではありません。

現に、近年の当会の場合で大括りに表現すれば、年間で事業に携わる役員・委員・部会役員等の延べ人数で約1,000人、事業に参加頂く人数は会員以外の皆さんを含めると約5,000

0人に上り、会員1,400で加入率70%超であることを踏まえて考えると、その位置づけと規模に見合った社会的責任を考えずにはおられません。

年間計画をしっかりと見据え、定例の事業と時宜を得た事業を織り交ぜて、組織的かつ効率的に運営することを心がけ、人的ネットワークを構築していく。まだまだ情報発信力が弱く、会員サービスも行き届いておりませんが、Web化努力と相まって、徐々に成果は上がってくる

## 社団化設立30周年記念事業

第1弾

11月11日(金) 午後6時30分～

「砂川 直子 ソプラノリサイタル」

酒田市出身で世界を舞台に活躍する、オペラ歌手を迎えました!

今年の「税を考える週間」記念事業は、30周年記念事業と合体しての開催となりました。

会場は、お馴染みの酒田市民会館・希望ホールで、可能な限りご当地(酒田市及び周辺)に縁(ゆかり)の出演者をお招きする方針に沿って、今回は正にイタリアの舞台から帰ったばかりの砂川さんの登場です!

オペラ仕込みの歌声は高い評価を得て、益々の成長が期待される方です。当日は、「おくりびと」「夜明けの歌」をはじめお馴染みの歌も織り込んだ舞台となります。



第2弾

11月15日(火) 午後2時30分～

# 「二宮 尊徳 の破天荒力!!」

筑波大学客員教授 松 沢 成 文 氏

前・神奈川県知事が、

「新・地方の時代」を熱く語る!!



同氏は現在、吉本興業グループに所属し、同社とともにエリアプロジェクトを推進しておられます。

神奈川県再生に、先人「二宮尊徳」の遺訓を辿り、日本再生のヒントを探る!

同氏はかつて民主党代表選に挑み、健闘する。3月、東京都知事選に立候補表明後断念。現在に至る。

ものと考えます。そのために、「対話の場」とりわけ「異業種交流の場」としての当会の役割を大切にしていきたいと思えます。

法人会は、言うまでもなく全国組織であり、どちらかという単位会主体で行動することが多いことは事実ですが、今後は県内は言うに及ばず、東北から全国へと組織のメリットを最大限活用する試みで、新たな酒田の活力源としての機能を期待できるかも知れません。

### 3. 地区役員会を核に!

酒田は江戸時代まで、「堺」に匹敵する自由都市(自治都市)といわれ、民活のお手本だったと言われております。一方で今、少子高齢化の時代に、人口の減少傾向に歯止めが掛らず、将来

に向けてどんな「モデル社会」を描くか?が問われております。世界の主要国の共通課題であり、当会との直接的係りのないこと、或いは、政治の問題と片付けることは簡単ですが、誰も手を差し延べるものもないことも確かであります。やはり、「地元の問題は地元で」が原則で、身近な仲間があつて、現実的な対応が図られていく...という構図が大切で、必要だと改めて考えております。

どこでも通用するものであります。次代を担う立場で人的ネットワークの構築と連携の妙を体験しつつ、当会ひいては地域活性化の要として、今後大いに期待するものであります。

当会は、組織の一元化を図って3年、「地区役員会」を中心に11地区で活動できるようにになりました。是非、時代の変化を身近で感じるためにも、地区役員会の定期開催を図りつつ、予想されるいろんな課題に取り組みるようになりたいものです。

また近年、女性部会も含め他単位会との交流が活発化してきており、その窓口としての役割をお願いしたいと思っております。

国の「行政改革」に端を発し、「民による柔軟な公益事業の推進」を謳い文句とした一大制度改革であります。但し、組織内からのニーズによるものでないだけに、率直に申して全体進捗は大幅に遅れているのが現状であります。しかし、これまでの民法から「特別立法」への法的根拠の移行に基づくものであり、その条件をクリアして「適合」判定を得ていかなければなりません。

### 4. 部会活動の

充実に期待

機会あることに申し上げておりますが、当会の諸活動の推進役は「青年部会」「女性部会」であり、「三水会」であります。時代の趨勢で、会員の減少傾向は避けがたいものがありますが、地域活動を通じての連帯感盤石で、年間計画を立案・実行していく組織的取り組みの手法は、

本年30周年を迎えた当会の直面する課題は、「公益社団法人」への移行であります。

この過程の中で、必然的に組織の総点検を行い、「会社法」に準拠した運営の透明性と事業の公益性が問われております。そもそも国税・地方税に係り、「国政の健全な運営の確保に資する」事業に携わっている訳で、今までもとそれ程大きく変わるものでもなく、必要ありません。いわば、これまでの「サロンの運営」から、公益性を意識した「事業体」への変身を求められているとしても、継続性を念頭に粛々と運営していくことだと考えます。

当会は、全法連の方針に従って、平成18年度には「公益社団

法人」を目指す方針を決定し、第30回通常総会で具体的移行日程も了解され、まずは順調に準備を進めているところであります。

30周年を経て、また新たなスタートへ  
会員皆さんの一層の「理解と」支援をお願いいたします!!

# 「出前租税教室」 — 5年目も快調 —

平成19年度から始まった「出前租税教室」は、今年度5年目を迎え、関係の方々のご協力により、計画通り実施され大変好評を博しました。

これまでの実績は、16校を回って児童3,000余名に、郷土伝統芸能「庄内出羽人形芝居」による「税って、なに？」を上演し、高度で巧みな人形捌きには、児童の感想からして十分に所期の目的は達成しているものと考えます。

何よりも、市教育委員会のご協力も得て、学校としても社会教育の一環として位置づけられ、定着しつつあることは、当会の

事業として大きな成果であります。また今年度は、学校の判断で父兄も交えての開催もあり、地域の皆さんにも喜んで頂きました。

このことを踏まえて、来年度以降は遊佐町も含めて、年4校のペースで事業展開していきます。



6月13日(月) 若浜小学校  
6月17日(金) 泉小学校  
6月21日(火) 黒森小学校  
6月24日(金) 東平田小学校



## 青年部会 先進企業訪問

去る7月26日(火)、青年部会の企画で「庄内における成長産業」として、(株)ウエノと(株)大商を訪問し、それぞれに社長から直接その経営方針とご苦労話を伺いました。

この企画には、女性部会と三水会からも参加者を募り、非常に有意義な企業訪問となりました。今後とも、部会同士の共催事業の取組に向けて、検討することを申し合わせました。



上野社長の講演

昨年の(株)山形法人会に引き続き、今年度は米沢から40名の一行が来酒。(株)平田牧場の視察の後、会長講話で貴重な経営哲学を学び、親しく経験交流の場をもつことができました。

## 女性部会

### (社)米沢法人会・女性部会との交流会

(7/12)



相馬楼での交流会



新田会長の講演